

障害者歯科診療車

車体購入仕様書

令和3年度

長崎県福祉保健部 国保・健康増進課

障害者歯科診療車 車体及び架装部分の仕様書

I ベース車体及び製作する架装（歯科診療室）の仕様

名称		仕様	例示品
1. シャーシ基本仕様			
(1)	シャーシ	トラックシャーシ車両総重量クラス16t以上とし後輪一軸シャーシとする。	2PG-FH1AGG 日野自動車（株）
(2)	トランスミッション	7M/T	
(3)	キャブ形状	フルキャブ	
(4)	エンジン出力	300馬力以上	
(5)	ホイールベース	4,800mm以上	
(6)	サスペンション	後輪エアサス	
(7)	タイヤサイズ	タイヤサイズは車体総重量にあわせること。	
(8)	エアコン	付き	
(9)	付属品・他	標準車載工具	
(10)	燃料タンク容量	200リットル以上	
2. シャーシ特別仕様			
(1)	3名仕様	センターシート付き	
(2)	オルタネーター	24V-90A	
(3)	バッテリー	170AH (165G51×2)	
(4)	冷専キット	付き	
(5)	キーレスエントリー	付き	
(6)	スペアタイヤ	付き	
(7)	スペアタイヤカバー	付き	
(8)	助手席カバー	付き	
(9)	ETC	付き、セットアップ含む	
(10)	サイドバイザー	運転席・助手席窓へ取付	
(11)	ナンバー枠	メッキ型、2枚	
(12)	フロアマット	運転席・助手席用ラバーマット付き	
(13)	ホイールキャップ	付き	
(14)	付属品	車両標準工具	
(15)	リヤバンパー	無	
(16)	ヘッドライトクリナー	無	
(17)	カップホルダー	付き	
(18)	ホイールキャップ	付き	
(19)	リモコン＋ヒーターミラー	無	
3. ボディ主要諸元			
(1)	全長	9800mm (±25mm)	
(2)	全幅	2485mmから2490mmの範囲	
(3)	全高	3470mm (±25mm)	
(4)	室内高	2200mm (±25mm)	
(5)	室内幅	2333mmから2338mmの範囲	
(6)	定員	7名※「15. 座席」参照	
4. 構造概要			
(1)	車両の構造は、道路運送関係法令・車両規則及び保安基準に適合した、鋼製・骨格・鋼板張りとする。		
(2)	使用材料はJIS規格品を標準とし、一級品以上の規格品を使用すること。		
(3)	製作に際し耐水・耐震・防塵・断熱等に特に留意し、体裁優美にしてその目的に合致するよう製作すること。		
5. ボディ基本構造			
(1)	骨格	0.8mm以上1.1mm厚以下の角鋼管、特殊折り曲げ材、他（溶接組立てトラス構造）	
(2)	外板	0.8mm以上1.0mm厚以下のボンデ鋼板（スポット溶接及び接着）	
6. 窓関係			
(1)	前窓	車両純正ガラス	
(2)	側窓	運転席・助手席は車両純正ガラス	
(3)	架装部分 1) 2) 部分除く	①診療室の窓はアルミ製引き違い窓とし、サッシ色は黒とする。 ・運転席側は3カ所、助手席側は2ヶ所とする。 運転席側窓：前方からW720mm×H600mm以上、中央W1000mm×H640mm以上、後方W1000mm×H640mm以上、助手席側窓：前方からW720mm×H600mm以上、後方W1000mm×H640mm以上 ②助手席側において、「7. 乗降口（扉、ステップ）」、「29. 身障者用リフト」の窓は、それぞれ固定窓付きとする。	
(4)	フィルム	運転席・助手席以外の側窓には、フィルムを取付ける。 （フィルム色：スモーク）	
注：窓の設置個所大きさは、機材の配置もあるため、設計図作成時に協議の上決定する。			

	名称	仕様	例示品
7. 乗降口（扉、ステップ）			
(1)	運転席・助手席	車両標準（運転席側に小柄の人用のですりをつけること）	
(2)	左扉① 左扉②	2枚折戸（固定窓付き）乗降用扉 観音扉（固定窓付き）リフト乗降用扉、180°全開ストッパーを設ける。	
(3)	ステップ	左扉①に2段ステップ以上を設ける。	
(4)		ノンスリップ材 樹脂製・黄色を全段に取付ける。	
(5)	補助ステップ	左扉①に、引き出し式ステップ取付ける。	
(6)		ノンスリップ材、樹脂製・黄色を取付ける。	
(7)	手摺	左扉①内側及び乗降口付近に握り棒を設ける。（2式）	
(8)		左扉①に着脱式手摺を設ける。（乗降口前後2式）	
(9)	掃出し	ステップの掃出し用寸法を左右幅20mm空ける。	
注： ステップ ・ステップはオープン ・全段樹脂製黄色ノンスリップ ・ステップ数は、小柄の人が乗降しやすいよう配慮すること。 ・図面作成時に協議して決める。			
8. 塗装・文字記入（外装色）			
(1)	ボディは、防錆処理を行うこと。		
(2)	塗料が剥落しないように下地処理を施し、ウレタン塗料を用い指定色にて総塗装を施すこと。		
(3)	外板に指定文字を記入する。		
(4)	下回りは、シャーシーブラック・アンダーコートとすること。		
(5)	屋根には、断熱塗料を使用する。		
(6)	指定文字・デザインについては別途デザイン図を作成し、詳細を打ち合わせる事。		
注：車体に塗装するデザインは、入札後車体設計図を作成する際にデザインのイメージについて打ち合わせを行い、落札業者が別途デザイン図を作成して決める。			
9. 内部基本構造			
(1)	仕切骨格	0.8mm以上1.2mm以下厚角鋼管、チャンネル材	
(2)	内板	0.8mm以上1.2mm以下厚のボンデ鋼板、又は、1.0mm以上のアルミ板	
(3)	断熱材	グラスウール（アルミ箔裏打ち）	
(4)	床板	15mm以上の耐水合板	
(5)	床上張り	ロンリューム張りとする。 エンジン上部には、断熱材（アルチャンプ）を施工し、カーペットを敷く。	
10. 診療室			
(1)	エンジンフロア立ち上がり部に仕切り壁を設置する。開き戸を設け後部を診療室とする。開き戸は、隙間風が生じないような構造とすること。		
(2)	身障者用乗降口付近に強化ガラスや強化プラスチックなどにUVカットのあるの素材を使い、自動ドアを設置する。		
(3)	診療チェア及びバキューム装置等の医療機器設置は術者が診療しやすい位置に設置すること。また、機器の配管配線等取り付けに係る全ての費用も含み算定し、歯科医療機器設備業者と協力して設置すること。		
(4)	車体にX線管理区域を示すマークを設置する。 医療機器は走行時に動かないよう固定をすること。		
(5)	湯沸かし器を設ける。（200V 2.1kw以上）		
(6)	センサー式手洗い装置を設置する。お湯と両方使用できるようにすること。		
(7)	W400mm×D350mm×H25mm以上（+5mm以内）・前方角R50、TOPメラミン貼り、前面化粧張り、3方ソフトエッジ取付の作業台を2台設置する。		
(8)	W480mm×H560mm×D400mm以上の冷蔵庫を設ける。（DC24V、AC100V兼用）		
注：（1）診療室部分がX線管理区域とわかるように、診療室部分の出入口に管理区域マークを貼ること。 （2）医療機器の設置は、必要に応じてメーカーと共同で行うこと。			
11. 室内仕上げ			
(1)	室内仕上げは室内全面をフィルム仕上げとする。		
12. 車体安定ジャッキ			
(1)	仕様	電動油圧ジャッキ 4軸	
(2)	取付位置	シリンダー：各タイヤ後部付近に設ける。 油圧制御：適切な位置に設ける。 スイッチ：左リヤフェンダーに設ける。	
(3)	安全装置	DC配電盤にジャッキインターロック（取付不可）、音声モニター、全上げスイッチを設ける。 収納確認ランプをDC配電盤に設ける。	

	名称	仕様	例示品
1 3. 天幕			
(1)	仕 様	電手動式 ボックスタイプ	
(2)	取 付	左扉上部、スイッチは扉付近に設ける。	
(3)	付 属 品	巻取り用ハンドル (室内固定)	
1 4. 保安部品			
(1)	前照灯	車両標準	
(2)	方向指示器	前：車両標準、後：車両標準	
(3)	テールランプ	車両標準	
(4)	路肩灯、後部マーカーランプ	バス用 (LED)	
(5)	アウトサイドミラー	車両標準	
(6)	ステップ灯	天井部 (LED)	
(7)	バックカメラ	シャッター付	
(8)	車外監視カメラ	左中扉上部に外部監視カメラを設け室内にモニターを設ける。	
(9)	扉開確認ランプ	左扉の開閉確認ランプをDC配電盤に設ける。	
1 5. 常務員室 (運転席・上主席の座席)			
(1)	運転席	車両標準 定員席 (1名)	
(2)	助手席・中央席	車両標準 定員席 (2名)	
(3)	2列目席 (右)	2人掛け席 (リクライニング、ひじ掛け付き) 定員席 (2名)	
(4)	2列目席 (左)	2人掛け席 (リクライニング、ひじ掛け付き) 定員席 (2名)	
(5)	医師席	1人掛け跳ね上げ式 定員外席	
注：法定に基づいたシートベルトを備えること			
1 6. 家具関係			
(1)	乗務員室及び診療室内に(2)～(8)木製収納庫を設ける。詳細については、診療チェアや口腔外バキュームやエアコンなど必要機器の配置を決めた後、歯科診療術者の意見を聞き、家具図を製作する。なお、TOPメラミン貼り、ソフトエッジ加工、見えるところの化粧仕上げを行うこと。		
(2)	乗務員室 (運転席・助手席) に下駄箱 (2列×5段) を設置すること。(W720mm×D320mm×H880mm以内)		
(3)	前方に配置する収納庫は、W950mm×D390mm×H920mm以内で、内部W750mm×D350mm×H865mm以上確保できる収納庫及びW900mm×D450mm×H590mm以内の天袋を設置すること。収納庫の上部は、H450mm以上のセーフラッチ及び取っ手付きスライドレールの引き出し、下部は、H590mm以上の左右開扉 (左右扉にPC換気口、左側面にW250mm×H490mm以内のPC用作業開口) とする。		
(4)	側方収納庫①は、リフト乗降口横の前方にW952mm×D400mm×H710mm以内で、2列×4段の引出しを備えた収納庫とすること。引出しの高さは上から55mm、83mm、125mm、260mm以上とすること。なお、収納庫下部には、ヒータや充電器など置くスペースなど考慮して240mm以上のスペースを確保すること。		
(5)	側方収納庫②は、リフト乗降口横の後方にW840mm×D430mm×H900mm以内で、上段高さ250mm以上のスライドレールを備えた引出しを2列、プレス自在・固定キャスター備えた収納棚とすること。収納庫の上部はW840mm×D430mm×H590mm以内の天袋を設置すること。		
(6)	後方に配置する収納庫は、W600mm×D725mm×H1000mm以内で、内部W580mm×D645mm×H900mm以上確保できる収納庫及びW1000mm×D500mm×H135mm以内の2列のセーフラッチ及び取っ手付きスライドレールの引出しを備えた天袋を設置すること。収納庫の上部は、H280mm以上の左右開扉で2段棚、下部はH600mm以上の左右開扉の収納庫とする。		
(7)	治療用品カーゴは、W340mm×D390mm×H575mm以内の3段棚とし、キャスターを取り付ける。		
(8)	クレーブ (滅菌器) 用カーゴは、W360mm×D370mm×H170mm以内で、内部にW250mm×D400mm×H170mmの収納部分を設け、クレーブ (滅菌器) が収まり、キャスターを取り付けた収納を備えること。		
注：仕様のとおり、大きな機器配置後に別途協議のうえ設置			
1 7. カーテン			
(1)	架装で取り付けした窓には、2重のカーテンレールを取り付け、窓の大きさから+100mm以上の遮光カーテン及びレースカーテンを設置する。		
(2)	チェア間にX線防御のための幅1350mm以上1400mm以内、床から700mm (±10mm) から高さ及び位置に下端とし、長さ1200mm以上1300mm以内の吊り下げ式鉛入カーテンを取付ける。		
注：(1) 診療室窓は1級以上の遮光カーテンとレースカーテン (2) 診療室内チェア間は、X線使用時に鉛入カーテンで遮蔽できるようアコーディオン式にする。			

	名称	仕様	例示品
1 8. 外線導入装置			
(1)	外線導入	5, 5sq×30m以上のコードリールを設ける。	
(2)	アースリール	手動巻き・アース棒0本付き、コードリール同所に収納する。	
(3)	アース端子	車両外部に設ける。(10m以上)	
(4)	配線取出し	メタルコネクタ方式とする。	
(5)	外部コンセント	200V及び100V外部出力を同所に1箇所設ける。	
1 9. 配電盤			
(1)	AC配電盤	下記の内容が設置できる適切な位置に取り付ける。 入力切替スイッチ、発電機スタート/ストップスイッチ、電流計及び電圧計、各ブレーカー類、パイロットランプ、室内灯スイッチ、ヒーター風量スイッチ、換気扇スイッチ、DCメインスイッチを設ける。	
(2)	DC配電盤	運転席上部に取付ける。	
注：DCメインスイッチ、ヒーターメインスイッチ、ダウンライトスイッチ、音声モニター、ジャッキ全上スイッチ、を設ける。			
2 0. コンセント			
(1)	診療室内のAC100Vコンセントは、前方仕切り壁に座席助手席側1ヵ所(2連口)、診療室内運転席側1ヵ所(2連口)、診療室内の右側側面板6箇所(2連口)、左側側面板6箇所(2連口)、後方仕切り壁2ヶ所(2連口)に計16ヶ所(全箇所2連口)設置し、設計図作時に指定位置を指示する。		
(2)	AC200V出力用キャプタイヤケーブルをコードリール内に設け、防水ゴムプラグを取付ける。ブレーカーは、AC配電盤へ設ける。(200V出力設置) (2P、ゲタ歯・メス)		
(3)	AC100V外部コンセントを室外に設ける。(左扉①②の間に1ヵ所(防滴型)設置)		
注：診療室内のコンセントは、診療チェア、取付家具の配置状況により決まるため、図面作成時に別途指示する。			
2 1. 充電器			
(1)	仕様	自動充電器 AC100V・DC12V/DC24V兼用	
(2)	取付位置	適切な位置に設ける。	
2 2. 室内灯			
(1)	運転部	DC24VLED灯(8W相当)1灯 DC24VLED灯(18W相当)2灯	
(2)	診療室	DC24VLED灯(18W相当)10灯	
2 3. 清水、汚水タンク			
(1)	清水タンク、汚水タンクを床下に設ける。 ※タンク構成の素材及び容量については、車体の構造にあわせ適切な位置に設置する。 ※給水ポンプ機種及び設置個所については、車体の構造にあわせ適切な位置に配置する。		
2 4. 冷暖房装置			
(1)	診療室内用エアコン	マルチエアコン AC200V 室外機：1機、室内機：3機 室外機及び室内機は架装上適切な位置へ取り付ける。	システムマルチ室外機 3M68RAV及び対応室内機
(2)	走行用クーラー	メインエンジン直結式ダッシュクーラーを運転室中央席上部に設け、スイッチはDC配電盤へ取付ける。	ダイキン工業(株)
2 5. 暖房装置			
(1)	仕様	温水式プレヒーター	HYDRONICM12
(2)	取付位置	予熱器は、適切な位置に設置。吹き出し装置は、各部屋1台設ける。	エバスペヒャー ミクニ
(3)	スイッチ	予熱器スイッチはDC配電盤へ、風量スイッチAC配電盤へ設ける。	クライメット コントロー ル システムズ(株) (EMCC)
2 6. 換気扇			
(1)	仕様	天井換気扇(強弱付の換気扇)AC100V仕様 5箇所取り付け	
(2)	取付位置	診療チェアの設置場所を考慮し、診療中に邪魔にならない位置に設ける。	
(3)	スイッチ	AC配電盤へ設ける。	
注：設置個所は車内の空気の循環を考慮して、換気が効率よくできるようにすること。			
2 7. 発動発電機			
(1)	仕様	防音型ディーゼル(12KVA、200V、60Hz)	12HDKCD
(2)	取付位置	指定箇所へ取付ける。	(株)シー・エス・エン
(3)	スイッチ	AC配電盤にスタート/ストップスイッチ、アワーマーターを設ける。	지니어リング
(4)	バッテリー	発電機用DC12Vバッテリー・1個をスライド台付きで設ける (130F51)	
(5)	その他	排気は、右床下とし、防音及び耐震に留意すること。	
注：発電機は防音型であること。			
2 8. オートトランス			
(1)	仕様	AC200V/AC100V ⇒ AC100V 6、5KVA	
(2)	取付位置	車体構造にあわせ設定し、車体に埋没する場合、メンテナンスが可能な整備口を設けること。	

	名称	仕様	例示品
29. 身障者用リフト			
(1)	仕様	<p>全自動式リフト</p> <p>① 観音扉を製作180°開きとし、外板に引掛け金具にて風・振動等で閉まらないようにロックする。内に内装式リフトゲートを取付ける。</p> <p>② ハンドルは内部レバーにて金具を設けロックする。</p> <p>③ 明かり窓は固定式にて5mm厚熱線吸収ガラスを使用する。</p> <p>④ 内部の床面にリフトゲート本体を埋め込み固定し、リフトは十分に接地可能なこととする。</p> <p>⑤ リフトゲート操作は外部にて行うため、キャップタイヤーにスイッチとする。使用後スイッチ操作により、室内に格納や走行時動かないよう固定する。</p> <p>⑥ 油圧パッケージは本体下部ボデースカートにBOXを設け取付、また点検できるようボデー外板に扉を取り付ける。</p> <p>⑦ H1700×W1380mm(±20mm以内)とする。</p>	
(2)	取付位置	診療チェアの配置及び診療スペースに応じて、位置を決めて設置すること。	
注：(1)「10. 診療室」の「2) 身障者用乗降口付近に仕切り壁を設け自動ドアを設置する。」にあるとおり、リフトと診療時に使用する自動ドアが相互に問題なく作動するよう設計に留意すること。 (2)全自動式リフトは、①から⑦の内容を満たす装置とする。			
30. 放送装置			
(1)	仕様	BGMオーディオはカーナビまたは別途CDプレイヤーから診療室内に流せるBGM用スピーカー（診療室内に2個）を設置すること。なお、電源は診療中は、発電機からの電気に切り替えることができること。	
(2)	取付位置	診療室内前方及び後方に診療設備の邪魔にならない適切な位置の壁に埋込設置をすること。	
31. 付属取付品			
(1)	スペアタイヤ	1式	
(2)	信号煙管	1式	
(3)	ナビ	1式（バックアイ兼用）	
(4)	オーディオ	カーナビにCDプレイヤーが付属している場合は、別途取り付けずに流用可能とする。「30. 放送装置」のとおり、診療中は車自体エンジン停止状態であるため、BGMは発電機からの電気を使用すること。（オーディオは診療室のBGMでも使用する。）	
(5)	車止め	2個 樹脂製	
(6)	デジタル時計	1個 温湿度計付き	
(7)	車用工具	1式 車両純正	
(8)	ジャッキ敷板	4枚 樹脂製	
(9)	掃除機	1個（コードレススティッククリーナー）	
(10)	ドライブレコーダ	1式（車前方及び後方の録画ができる装置）	
(11)	消火器	1個	
(12)	タオル掛け	ペーパータオル掛けを手洗い装置（流し台）上部に取り付け、布タオル掛けを流し台に取付。	
(13)	ハンガーフック	乗務員室内に3個、診療室仕切り壁2個設置	
(14)	鏡	1枚（積み込み品）	
32. 附記			
(1)	本仕様書は、「障害者歯科診療車」製作に適応する。		
(2)	仕様書にある製作に関する詳細については、必要な都度毎に協議する。		
(3)	自動車重量税、自賠責保険料、リサイクル料は別途支払うものとする（入札金額には含まない）。その他の登録に要する費用及び輸送料は、入札額に含めること。直接納入場所に納入すること（検収は納入場所で行います）。		
(4)	例示品または上記要求仕様を満たすもの（同等品）を納品すること。		

障害者歯科診療車 車両搭載診療設備仕様書

II 搭載診療設備の使用

1. 診療台

項目	数量	仕様	例示品	
本体	診療台 (診療チェア) *特に飛沫感染対策として、清掃が容易にできること	2	(1) 患者の導入、乗降を寛容にするため、チェアサイドから立ち上がるチューブ、アーム等が無いこと。 (2) 足折れタイプで、ステップ付であること。 (3) スペースを有効活用できるユニット内蔵チェアであること。 (4) バックレストショルダー部に、エアタービン、マイクロモーター、スリーウェイシリンジ、バキュームシリンジを装備していること。 (5) 4ポジションのオート位置制御を有していること。 (6) コップ給水は、センサー式のオートフィルター給水方式であること。 (7) 水及びエア回路に除菌フィルターを有していること。 (8) フットコントローラーにより、背板の起立傾斜、ユニットの昇降が行えること。 (9) ベース部は可動式で、かつ患者口腔位置まで移動できるバキュームカップを別に有していること。 (10) 電源は100Vで、単相であること。 (11) チェア寸法は幅700×全長1770mm以下であること。	スペースライン イムシア typeⅢ UP-FT (株) モリタ
	ライト	1	(12) 天吊りタイプであること。(フリーアクションライト) (13) 照度は、15,000ルクス以上であること。LEDであること。	
	トレー	1	(14) 可動範囲の広い天吊りタイプであること。(フリーアクショントレー)	
	エアタービン	5	(15) ツインパワータービン(LEDライト付)であること。 (16) オートクレーブ滅菌できること。 (17) クイックストップ機構付であること。	
	マイクロモーター	6	(18) トルクスSS(LEDライト付)であること。 (19) カーボンレス方式であること。 (20) ストレートハンドピース1本と、コントラアングルハンドピース1本を装備し、オートクレーブ滅菌できること。 (21) 回転数は、100~40000回転まで、任意にコントロールできること。	
	スリーウェイシリンジ	8	(22) 術者側と介補者側に各1本装備すること。(標準2本) 予備にプラス6本 (23) ノズル及びシリンジケースは、オートクレーブ滅菌できること。	
	バキュームシリンジ	1	(24) 介補者側に1本装備され、格納スイッチ方式であること。 (25) バキュームシリンジボディーはオートクレーブ滅菌出来ること。	
	排唾管	1	(26) シャットオフバルブ式であること。 (27) 介補者側に1本装備され、格納スイッチ方式であること。 (28) エジェクターチップはオートクレーブ滅菌出来ること。	
	超音波スケーラー	1	(29) 本体内蔵式であること。 (30) ハンドピースは、オートクレーブ滅菌できること。	
	オペレーティングスツール	1	(31) 足下で、上下の高さ調節が行えること。	
	アシスタントツール	1	(32) 足下で、上下の高さ調節が行えること。	

2. 歯科用レントゲン式

項目	数量	仕様	例示品
チェアサイド機器	1	(1) 訪問診療にも使用できる、携帯用タイプであること。 (2) 多様な患者姿勢にも対応できるよう、ハンドルタイプであること。 (3) 被爆線量低減のため、軟X線をおさえる直流方式であること。 (4) デジタルセンサー、X線装置、モニター、画像処理ソフトを一台に搭載しており、撮影した画像がリアルタイムで表示保存可能であるもの。USBケーブルや Wi-Fi無線自動転送機能による画像のPCへの保存が可能であること。	デキシコ ADX4000W 長田電気工業(株)

3. 口腔外バキューム一式

項目	数量	仕様	例示品
口腔外バキューム	2	(1) 電源電圧が単相100Vであること。(アーム及びバキュームモーター両方) (2) 診療中の切削器具の使用による粉塵および注水噴霧の飛散を切削点に接近した場所で吸引排除できること。 (3) 床固定式で小スペース(ポールの接地面203Φ以内)で設置可能であること。	フリーアーム フォルテF バキュームモーター TCV-FAC2 (株) 東京技研

4. コンプレッサー及びバキュームモーター一式

項目	数量	仕様	例示品
チェア用必要機器	①コンプレッサー	(1) 安全性が高い、管理が容易なオイルフリーである、低騒音型であること。 (2) 仕様電源は、単相100V仕様であること。 (3) 定格出力は0.75KWであること。 (4) 高品質なクリーンエアーを安定して供給すること (5) 36L以内の容量を要すること。	コンプレッサSLP-07EE 106EFC6 タンクSAT-36CB-100 アネスト岩田(株)
	②エアド라이어	(1) ステンレスシェルの熱交換器を採用している (2) 仕様電源は、100V単相仕様であること。	RAX3J-A1 (単相100V) オリオン機械(株)
	③バキュームモーター	(1) 仕様電源は、100V単相仕様であること。 (2) バックアップ用のサブモーターを装備すること。 (3) コンパクトであること(W425mm × D390mm × H450mm以内) (4) 水と空気を分ける分離器コネクターを装備していること。	TwinVac-α (株) アクロス

5. 滅菌器

項目	数量	仕様	例示品
室内配置 滅菌器	1	(1) 小型で(幅・奥行・高さの各々がW250mm×D400mm×H360mm以内:ふたを閉じた状態)、高圧蒸気滅菌器であること。 (2) 電源電圧が単相100V 滅菌温度は121~135度の範囲内の性能を有し、加熱重力置換・滅菌・排水・乾燥ができる機器であること。	プチクレープ11 長田電機工業(株) スマートクレープHSS (株) モリタ

6. 診療用小器械

項目	数量	仕様	例示品	
歯科診療車用診療器具	①光重合器	1	(1) 高出力光重合 460nmの出力ピーク波長を有すること。 (2) ハイパワーLEDで重合時間を大幅に短縮できること。 (3) コンパクトで臼歯部への照射が容易であること。	ペンキュアー2000 (株) モリタ
	②根管長測定器	1	(1) 液晶表示と音により、根管長を示し、根管拡大装置を後付できること。	ルートZXmini (株) モリタ
	③超音波スケーラー	1	(1) 歯周治療、歯内療法、スケーリングに対応できるように3モード以上のパワーモードが設定できること。 (2) フットペダルを備え、フットペダルを踏むとチップが超音波振動し、注水を開始すること。 (3) 注水はユニットからの注水回路に加え、専用ボトルを使い分けることにより治療目的に合わせた消毒液を使用することができること。	バリオス 750 (株) ナカニシ ソルフィーFボトル、 ライト付き (株) モリタ
	④生体情報モニター	1	(1) 指に装着し、末梢血の酸素飽和度 (SpO2) と脈拍数を測定できること。 (2) 電池式であること (診療機器の参考例は、電気的定格：定格電源:DC 3V(単 4 形アルカリ乾電池 2本使用))	パルスオキシメーター フィンガーFS20D 村中医療器 (株)
	⑤緊急救命セット	1式	(1) 蘇生バックとフェイスマスクがセットされていること。	アンプ蘇生バッグ SPUR II (成人用) (株) セキムラ
	⑥除細動器	1	(1) 電極の導通チェックを含めた、セルフチェック機能を備えていること。 (2) 壁掛けタイプの収納ケースを装備していること。(大きさは、幅390×高さ400×奥行174mm以内)	自動体外式除細動器AED-3100 日本光電工業 (株)
	⑦診療台用スプアーインストルメントセット	1式	(1) 下記の切削器具で構成されており、1の診療台に接続可能であること。 ・ ストレートハンドピース3本 ・ 5倍速コントラアングルハンドピース (ライト付) 3本	ST-DH (株) モリタ CA-51F-0 (株) モリタ
	⑧壁掛式キャビネット	1	(1) 15 W殺菌灯とインバーターが装備されており、トレーが収納でき、寸法はW300×D220×H510mm以内であること。	キャビオIIコンパクトタイプ (株) モリタ
	⑨X線防護衣	3	(1) 歯科用X線撮影用エプロン (放射線防護用前掛)	PDA-18 (株) マエダ

(参考資料)

現在の歯科診療車の写真

※現稼働中の歯科診療車による参考イメージです。

障害者歯科診療車（現車によるイメージ画像）

1. 外見



歯科診療車正面



歯科診療車後面



歯科診療車側面（運転席側）



歯科診療車側面（助手席側）



歯科診療車側面（助手席側・リフト正面）



歯科診療車前方（助手席側・リフト）

2. 歯科診療車乗務員室（運転席・助手席・後部席）



運転席高さ（段差が大きいため、小柄な人でも上りやすくする）



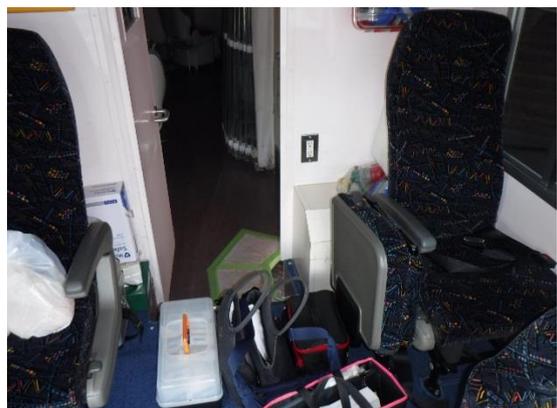
歯科診療車側面（運転席）



歯科診療車側面（助手席）



後部席・運転席側



後部席・助手席側

※現車は、助手席側後部席1席と補助席となっているが、新車は運転席後部席と同じ2席にする。

3. 歯科診療室



乗務員室からの診療室の出入口



診療室内（シンク・給湯器設置例）



診療室内（前部診療チェア配置例）



診療室内（後部診療チェア配置例）



歯科診療室内（設置家具のソフトエッジ例）



歯科診療室内（作業台取付例）